

## 2006年度日本交通学会第65回研究報告会概要

2006年11月11日～12日の2日間、2006年度日本交通学会第65回研究報告会（大会）が北海道大学において開催されました。2日間で延べ約320名の参加者があり、統一論題発表、シンポジウム、総会、自由論題発表と盛況の中、すべて滞りなく成功裡に終わる事ができました。

以下に、本大会の様子をご紹介します。

大会初日、開催に先立ち、北海道大学大学院公共政策学連携研究部教授佐藤馨一先生から、開催校を代表してご挨拶を頂きました。



開催のご挨拶

今回の統一論題は、「都市再生と交通政策」をテーマに取り上げ、都市再生の現状と課題、交通政策との関連性、公共交通や道路交通の役割やあり方等の観点から、4件の発表が午前中行われました。

午後からは、4名の発表者に、札幌市市民まちづくり局の紙谷健治様に加わっていただき、室蘭工業大学教授田村亨先生の司会のもと、パネルディスカッションが行われました。



パネルディスカッション風

パネルディスカッションでは、「都市再生、中心市街地活性化の是非、なぜ活性化・再生しなければならないか、政策として議論すべき点はなにか。」また、「報告で取り扱っている交通機関が都市再生にどのような効果を与えたのか、与えていると考えているのか。」を念頭に置いて、公民の役割、受け皿としてのキーパーソンは誰なのか、中間的支援組織（例えば TMO、TLO）の役割など多岐に渡り、会場参加者も含め、活発な意見が交わされました。

パネルディスカッション終了後、総会が行われ、2005年度の会務・会計報告の他7つの議題が報告され、審議を経て、すべて承認されました。総会におけるイベントとして、今年度の学会賞の授賞式が執り行われました。



会場の様子

「著書の部」の受賞は、中央大学教授塩見英治先生、京都大学大学院教授文世一先生、「論文の部」の受賞は、神戸大学大学院村上英樹先生に、杉山会長から賞状と賞金が授与されました。

夕刻から、懇親会が開かれ、冒頭杉山会長から大会開催の労をお取り頂きました故五十嵐日出夫北大名誉教授への追悼のお言葉があり、元法務大臣野沢太三様、JR 貨物北

海道支社長河野志郎様から来賓のご挨拶を頂き、会員相互の親睦を深める事が出来ました。

二日目は、自由論題の発表が3つの会場で行われました。第一会場は鉄道を中心とした論文、第二会場は道路を中心とした論文、第三会場は航空・物流を中心とした論文の発表が行われ、各会場共、活発な質疑応答が行われました。

終わりに、本大会の準備、運営に多大なるご協力を頂きました北海道大学大学院佐藤先生、岸先生はじめ、同工学研究科交通インテリジェンス研究室の皆様感謝申し上げます。

(事務局記)



学会賞受賞式の様子



論文発表の様子